



イチゴ編

病害虫注意報 2024年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



育苗期の徹底防除で、本圃への病害虫の持ち込みを防ぎましょう！



ランナー切り離し後 おすすめローテーション①

切り離し後から育苗期がスタートです！

※ランナー切り離し後から農薬のカウントが始まります。回数には気を付けてください ※

時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数			
							ミツバチ	マルハナ	ミコ	刊
7月 ③	11	炭疽病 等	予・治 ファンタジスタ 顆粒水和剤	2,000倍	前日	3回	1日		0日	
	13	ハダニ類・ハスモンヨトウ 等	コテツフロアブル	2,000倍	前日	2回	10日	9日	14日	
7月 ④	M03	炭疽病	予 アントラコール 顆粒水和剤	500倍	仮植 栽培期	6回	-		-	
	-	ハダニ類・アブラムシ類 うどんこ病 等	フーモン ※野菜類登録	1,000倍	前日	-	0日		1日	
8月 ①	M03	炭疽病 じゃのめ病	予 ジマンダイセン水和剤	600倍	仮植栽培期 (76日前)	6回	3日	0日	14日	
	1B	ハダニ類 等	トクチオン乳剤 卵にも効果あり	1,000倍	75日前	3回	-	1日	30日	
8月 ②	40	疫病	予 レーバスフロアブル	2,000倍	育苗期	苗床: 2回	1日		0日	-
	6	ハダニ類	アグリメック	500~ 1,000倍	育苗期	2回	14日	7日	7日	

★ いずれの薬剤も、高温時・多湿時の散布は控えその日のうちにきちんと乾かしましょう！

パラフィン展着剤

アビオン-E



- 雨を弾いて農薬の流亡を減らす
- 過度の水分蒸散を防ぐ

野菜類登録 農薬に添加
500~1,000倍(10~20ml/散布液10L)

クロスバリュー

微生物の力で

- 環境ストレスへの耐性強化
- 収量や品質の安定化

野菜類使用例

500~1,000倍、50~100ml/株
定植時~定植後、株元灌注

